

CM-520W1

新バージョン(BT2.1)

かんたんガイド

株式会社エイポック

http://www.a-poc.co.jp/

TEL 045-508-5201

Ver.H

■付属品がすべてそろっていることを確認してください。

- | | |
|---|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> CM-520W1 (本製品) | <input type="checkbox"/> USB ケーブル |
| <input type="checkbox"/> ストラップ | <input type="checkbox"/> かんたんガイド(本書) |

■別途ご用意下さい

- ・利用可能な USB ポートがあるパソコン(充電に必要)
- ・本製品をワイヤレススキャナとして使用する場合、USB ドングルか Bluetooth 搭載(HID プロファイル対応)パソコンが必要です
- 本製品はすべての機器との接続を保証するものではありません
- 取扱説明書はホームページからダウンロードして下さい。

【取扱説明書ダウンロード】

<http://www.a-poc.co.jp/>

【ユーザー専用ページ(一部資料のダウンロード)】

<http://www.a-poc.co.jp/dl2/>

(弊社 URL の後、英小文字でディー、エル、2、スラッシュ)
ログイン ID パスワード お買い上げの商品に記載

取り扱い上の注意

ご使用の前に、取扱説明書の取り扱い上の注意を必ずお読み下さい。本製品の取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障・不具合およびパソコンの故障・不具合やデータの消失・破損は弊社の保証対象には含まれず、その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

電池の注意

本製品は、リチウムポリマー電池(バッテリー)を内蔵しています。
◆電池の液が漏れたときは、液に触れないで下さい。◆濡らしたり、水などの液体の中に入れてたりしないで下さい。◆電池は定期的に充電して下さい(月1回程)。長期間放置すると劣化します。◆満充電になったらケーブルを外して充電を中止して下さい。◆電池は寿命があります。十分に充電できなくなったら、弊社に有償修理をご依頼下さい。

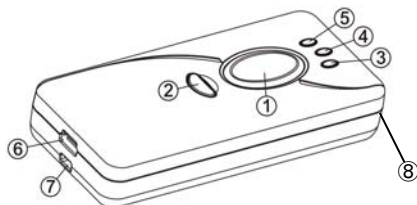
電波の注意

本製品は、電波法で定められた 2.4GHz 帯高度化小電力データ通信システムの無線局の無線設備として、技術基準適合認証を受けた製品を内蔵しています(内蔵製品 P110)。日本国内のみの使用目的において無線局の免許は必要ありません。

■本製品は、次の場所で使用しないで下さい。

- ◆電子レンジ付近の磁場、静電気、電波障害の発生するところ、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近く(環境により電波が届かない場合があります)
- ◆人命に関わる医療用機器・その他の機器の近く
- 製品の仕様、本書の内容については改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本書に記載された他社製品名は各社の商標または商標登録です。
- 本書の一部または全部を無断で複製および転載することを禁じます。

■各部の名称



①大ボタン	押す→バーコード読み取り 長押し→メモリ⇄ワイヤレスを切替 転送モードに入ってから押す→蓄積転送
②小ボタン	長押し(ブザー3回→1回)→転送モード メモリで長押し+大ボタン押す→蓄積消去 BTで長押し+大ボタン→ペアリング BTで長押し(ブザー3回→はなす)→BT切断
③パワー通知 LED(赤)	点灯→充電中、2秒間隔の点滅→満充電
④読取通知 LED (緑/オレンジ/赤)	緑→バーコード読取 オレンジ→転送モード 赤→消去/エラー
⑤モード通知 LED (緑/オレンジ/青)	緑→ケーブルモード オレンジ→メモリモード 青→BTモード
⑥USBポート	USBケーブルを接続
⑦ストラップ穴	ストラップ取り付け穴
⑧読取ウインドウ	読み取りの赤色光を投光

1 セットアップ - 初めて使うときに行うこと

本製品とパソコンを付属の USB ケーブルで接続して下さい。自動で USB ドライバをインストールしセットアップが完了します。
※ご購入直後は充電後の使用を推奨いたします。
※本製品を付属 USB ケーブルでパソコンと接続すると充電します。
※パソコンまたは USB AC 充電器(5VDC, 1A 以上)で充電して下さい。
タブレットやその他の方法で充電した場合、適切に充電できず本製品のバッテリーを痛める恐れがあります。

2 モードの選択・使用方法

本製品は3つのモードがあります。モードは LED の色で確認できます。上記表「⑤モード通知 LED」を参照して下さい。

2-1 ケーブルモード - パソコン接続にて直接読み取り

- 1) 本製品とパソコンを USB ケーブルで接続して下さい。
- 2) バーコードデータを入力する場所にカーソルを合わせて下さい。
- 3) バーコードを読み取って下さい。データを転送します。

2-2 メモリモード - 読取データ蓄積後転送

- 1) 本製品から USB ケーブルを外して下さい。メモリモードになります。通知 LED がオレンジ色で点滅することを確認して下さい。

※通知 LED が青色の場合、メモリモードになっていません。
下記「メモリモードへの切り替え方」のバーコードメニューを読み取って下さい。

- 2) バーコードを読み取って下さい。データを蓄積します。
- 3) 本製品とパソコンを USB ケーブルで接続して下さい。
- 4) データを転送する場所にカーソルを合わせて下さい。
- 5) 小ボタン長押し→ブザー3回(ピピピ)→まだ長押し→ブザー1回(ピー)→ボタンを離す。(オレンジ LED が点灯し、転送モードに入ります)
- 6) 大ボタンを押して下さい。蓄積データを転送します。
※蓄積データ転送は下記[転送]の設定メニュー読取でも可能です。
※転送した後も、本製品に蓄積データが残っています。

*蓄積データの消去方法

- 1) 本製品から USB ケーブルを外して下さい。
- 2) 小ボタン長押し→ブザー3回(ピピピ)→小ボタンを押しながら、大ボタンを押す。(データを消去します)

*メモリモードへの切り替え方

次のメニューを読み取って下さい。

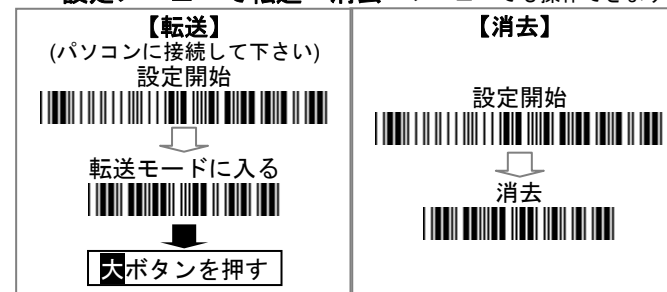


オレンジ色 LED ランプが点滅したら、メモリモードです。
※エラー音(ブザー5回)が鳴った場合、すでにメモリモードです。
本書裏面右下の「設定終了」を読み取って終了して下さい。

※モードの切り替えは、ボタンでも行えます。

- 大ボタン長押し→ブザー3回(ピピピ)→まだ長押し→ブザー1回(ピー)→ボタンを離す(モードが切り替わります)

*設定メニューで転送・消去 - メニューでも操作できます



2-3 BTモード(Bluetoothモード)-ワイヤレス読み取り

ご案内 ドングル付きセットは別紙「らくらくスタートガイド」
お読み下さい

<詳しい説明は取扱説明書をお読み下さい>

- 1) 本製品から USB ケーブルを外して下さい。
次のメニューを読み取り、BTモードに切り替えて下さい。



青色 LED ランプが点滅したら、2)へ進んで下さい。

※エラー音(ブザー5回)が鳴った場合、すでにBTモードです。
本書右下の「設定終了」を読み取って終了して下さい。

- 2) 次のバーコードメニューを上から読み取って下さい。



- 3) タブレットなどの Bluetooth をオンにして、Bluetooth デバイスの追加・検索をして下さい。※機器により操作は異なります
- 4) タブレットの画面に出た[SmartBt]を指でタッチして下さい。
※新バージョンは機器の画面にコード(数字)が出ません。コードが出た場合、下記「旧バージョンのBTモード設定」を行って下さい。
- 5) ブザーが鳴り、青LEDが点灯したら設定完了です。
※BTペアリングは、ボタンでも行えます。

小ボタン長押し→ブザー3回(ピピピ)→小ボタンを押しながら、大ボタンを押す(ペアリングモードに入ります)

旧バージョンのBTモード設定

- *上記1)~4)まで進め、コードが出た場合
ア) タブレットなどの画面に出たコード(数字)と同じ数字の「英数メニュー」→「セット」を読み取って下さい。
(7863なら、7,8,6,3,セットを読む) ※機器により桁数は違います
イ) ブザーが鳴り、青LEDが点灯したら設定完了です。

2-3-1 iOSでの使い方

メモなどのアプリを開きタップしてカーソルを表示する
→小ボタンを押して画面にキーボードを出す→キーボードを
English(US)に切り替える→バーコードを読み取る
(iOSは小ボタンを押すとソフトキーボードをオン/オフできます)

★読み取りデータが桁落ち・文字抜けする場合
本書のバーコードメニューを読み取り設定して下さい。

設定開始→BTギャップ桁間隔→1→セット→設定終了

設定開始→BT1文字間転送間隔※→2→0→セット→設定終了

設定開始→BT1レコード間転送間隔→1→0→セット→設定終了

※改善しない場合 BT 1 文字間転送間隔の数字を5→0に設定して下さい

2-3-2 Android 4 以上での使い方

本書のバーコードメニューを読み取り設定して下さい。

設定開始→BTキーボード配列 英語→設定終了を設定して下さい。

メモなどのアプリを開きタップしてカーソルを表示する
→一度、Bluetooth を切断する(小ボタンを長押し→3回ブザー鳴る
→ボタン離す)→キーボード設定の[入力方法の選択]を[英語]に
設定する→バーコードを読み取る

2-3-3 Windowsでの使い方

設定開始→BTキーボード配列 日本→設定終了を設定して下さい。

パソコンのソフトを立ち上げ、バーコードデータを入力する場所
にカーソルを合わせて下さい。→バーコードを読み取って下さい。
データを転送します。

3 仕様

読み取り バーコード	JAN/EAN/UPC ,Code 39, Interleaved2of5 (ITF), Codabar(NW7),Code 128, GS1 Databar (RSS)他
スキャン エンジン	CCD センサ:100 スキャン/秒、最小分解能:0.1mm 読取深度:50~250mm(細バー0.33mm),PCS:0.45
プロセッサ	32bits CPU
メモリ	4MB(蓄積件数:JAN13で18,400件)
バッテリー	リチウムポリマー,3.7V ,420mAh,USB ポートで充電
読み取り回数	8,000 回(ワイヤレス時,パイプレータ・オン、ブザー あり,5秒に1回の読み取りで)
USB	USB (HID キーボード,USB パーチャル COM)
Bluetooth	Bluetooth Version 2.1,2.4GHz,Class1(距離100m) 対応プロファイル:HID,iOS用HID, SPP(Slave,Master)
ボタン	2(大:読み取り/モード切替,小:転送/消去)
通知	LED :3、ブザー:4段階または無し、パイプレータ
動作温度/湿度	-10℃~+40℃/10%~90%RH(結露なきこと)
寸法	(L x W x H) 89 x 40 x 17.5 mm
重量	75g(内蔵バッテリー含む)
法令等	FCC / CE / VCCI / RoHS
動作確認 OS	Windows 10,8.1,8,7(32bit,64bit),XP(SP2以上), iOS4以上, Android 4以上 全ての機器との動作を保証するものではありません

4 バーコードメニュー

設定開始→各メニュー→
(英数→セット→設定終了)を読み取り
設定変更します。

詳細は取扱説明書をお読み下さい。



ブザー、パイプレータ、日時設定、
その他は、取扱説明書のメニューを
ご使用下さい。※パイプレータはオ
フに設定して出荷しています。

ケーブルメモリ キーボード配列:日本

USB 接続時の記号を修正(初期値:英語)

BT キーボード配列 日本
BT キーボード配列 英語

BT ギャップ桁間隔
次に→1→セット→設定終了
BT 1文字間転送間隔
次に→2→0→セット→設定終了
BT 1レコード間転送間隔
次に→1→0→セット→設定終了

ITF(12of5) 許可
ITF を読取許可にする(初期値:禁止)

改行設定(ポストアンブルデータ)
※モード別に設定します
ケーブルモードの改行設定

BTモードの改行設定
■Enterに設定(出荷時設定)
次に→0→0→セット→設定終了
■Tabに設定
次に→0→9→セット→設定終了
■なしに設定
次に→0→0→セット→設定終了

■バーコードサンプル
コードタイプ Code 39

設定終了